る提案をされた件について、町の方針を報告申し上げます。JR北海道の経費削減策、費用確保策の全貌が明らかになり、沿線地域の対応の方向が決まった時点で総合的に存続の可否を判断することとし、まずは1年間、幌延町が駅の維持管理費を負担することで存続させることといたしました。

行政報告―教育長

○学校教育について

英語暗唱大会宗谷地区予選会に出場した幌延中学校3年生、西澤花菜さんが管内代表に選出され、全道大会に出場しました。青少年保護育成弁論大会が開催され、団体では2位、個人では幌延中学校3年生、若杉涼香さんが3位、畠山海君が5位に入賞しました。

平成28年度全国学力・学習状況調査の報告書に、本町の学習状況を掲載することに教育委員会も同意しました。北海道教育委員会のホームページで公開されております。

給食における異物混入について。11月16日に幌延小学校へ配膳したつくねバーグ1個から、ビニール片が発見され、直ちにつくねバーグを回収し、その後本社、関係機関に報告し、現在納入業者を通じて製造元で原因を究明中です。

インフルエンザの流行が例年より早く、12月5日から8日まで幌延小学校の6年生が学級閉鎖をしました。感染予防に努めています。

○社会教育について

幌延中学校1年生の葛川美咲さんが、全国道場少年剣道選手権大会中学生女子の部に、北海道代表として出場しました。

スキー場の圧雪車が12月12日に納車されました。旧圧雪車は、1百29万6千円で売却いたしました。

第1回幌延町議会議員報酬検討特別委員会

12月16日に、第1回幌延町議会議員報酬検討特別委員会が開催され、委員長に無量谷議員、副委員長に吉原議員を選任しました。

地域の課題をとらえて

4氏が一般質問

敏・サルモネラ症対策について
直・生乳生産拡大事業について
樫・富

サルモネラ症について

質問▶町内でサルモネラ症が発生し、多大な損害が出ている。町で資金を創設し、損害額を補てんする制度を作る考えはないか。

町長▶発生農家の経済規模や、治療方法、損失の補てん内容によっては、農家の皆さんで補うことが困難な場合も考えられるので、農協を中心に支援内容の制度設計を行い、役場担当グループと相談して欲しい。

新たに、防疫機材の購入支援も検討している。

生乳生産拡大事業について

質問▶生乳生産拡大事業では、初任牛の購入に際し、1頭当たり上限20万円、10頭までの補助を考えられているが、来年度の新規就農予定者に、特例として、制限なく助成することが出来ないか。

町長▶新規就農者に助成する必要性は理解しているが、別な取り組みで、制度設計を行うかどうか、関係機関と協議、検討したい。

質問▶生乳生産拡大事業は3年間の事業だが、今後の新規就農者のために恒久的にこの事業を出来ないか。

町長▶本事業を新規就農者向けに恒久的に取り組むことが必要かどうか、関係機関と協議したい。